

2026年度体験教育プログラムのご案内

当センターでは、体験教育プログラムとして「HAP（ひょうご冒険教育）」をはじめとしたプログラムを提供しています。

このたび、利用団体の皆さまの目的やご要望に応じた、より適切な体験内容の提供を目指し、体験教育プログラムの区分および進め方（提供方式）を見直しました。

2026年度より、体験教育プログラムを「HAP」「ExIL」「イニシアティブゲーム」の3つの提供方式に整理するとともに、料金体系をグループ単位から一人当たりへ見直します。これにより、事前相談からお申込みまでの流れが明確になり、各団体の目的や実施条件に応じた対応が可能となります。

3つの体験教育プログラムの詳細については下記に記載しております。各団体の目的や実施条件に応じたプログラム選択の参考として、ぜひご覧ください。

【体験教育プログラムについて】

HAP	<p>当施設におけるHAPの理念、ねらいに基づき提供される標準化された体験教育プログラムです。</p> <p>当施設におけるHAPねらい「①楽しさの中で自分を表現する」「②仲間と関わり、協力する」「③挑戦を通して考え、乗り越える」から実施目的とマッチするものを選択いただき、それに基づき提供します。</p> <p>活動時間:半日～2日間 グループ規模:1グループ最大15名(最大9グループ) 実施場所:基本的には冒険の小川チャレンジコースを利用(天候によりは屋内での活動する場合があります) 対象:小学生～一般団体です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>当施設におけるHAP（2026年4月1日より施行）</p> <p>【理念】 「人と人がつながり、共に成長すること」を大切にします。参加者も指導者も、挑戦・協力・ふりかえりを通して、「自分を知り、仲間を知り、学びを深めていくこと」を目指します。</p> <p>【ねらい】 体験を通して、次のような力の育成をめざします。 ①楽しさの中で自分を表現する ②仲間と関わり、協力する ③挑戦を通して考え、乗り越える ④ふりかえりで次へつなげる</p> </div>
ExIL	<p>利用団体の目的やご要望、教育的ねらいを踏まえ、グループ人数やプログラム内容を事前に相談しながら構成する体験教育プログラムです。</p> <p>活動の深さや進め方についても調整が可能で、目的やご要望に応じた学びを重視したい場合に適しています。</p> <p>活動時間:1日～ グループ規模:目的・要望により設定可 実施場所:原則冒険の小川チャレンジコースを利用。※どんな場所でも対応可能 対象:特になし</p>
イニシアティブゲーム	<p>冒険の小川チャレンジコースは使用せず、主に屋内で実施する課題解決型のアクティビティです。</p> <p>時間や環境に制約がある場合にも取り入れやすいプログラムです。</p> <p>短時間でも「体験→気づき→次の行動」につながります。</p> <p>活動時間:概ね2時間以内 グループ規模:1グループ25名以上(最大5グループ) 実施場所:主に屋内(体育館・講堂・研修室)での活動 対象:小学生</p>

※体験教育プログラムの料金については別紙1「2026年度新料金について（一覧）」をご覧ください。